

第1号議案

令和元年度事業報告

自 2019年4月 1日
至 2020年3月31日

当会は、平成25年4月の「一般社団法人（非営利型）」移行後、組織の運営や事業活動に対して自主性・公益性・透明性が強く求められていることを十分に認識した上、事業計画に掲げた「基本原則」に則り、地域の発展と会員企業の恒久的・安定的かつ健全な繁栄に資するため、事業活動の効率化・組織体制の強化を図り「会員にとってより魅力ある法人会」を志向して事業の改善に努めてきた。

また、法人会本来の「税に関する事業」については、前橋税務署並びに税理士会をはじめとする税務協力団体との連携のもと、税務行政の円滑な運営に協力することを目的に会員・役員企業に対するe-Tax・eLTA利用促進PR事業を行ったほか、様々な事業を積極的に展開した。

しかしながら、年度後半の1月以降、新型コロナウイルス感染症拡大を因として、予定していた事業を中止せざるを得ない事態が発生し、会の運営と事業活動に大きく支障を来すこととなった。

このような状況において、会員・役員の皆様、前橋税務署、行政県税事務所、前橋市、友誼団体ほか当会の事業と運営にご協力頂いた皆様には、特段の感謝を申し上げ、令和元年度の事業について以下の通りご報告致します。

I 公益事業

1. 税務支援事業

前橋税務署ほか関係団体との連携のもと、「決算説明会」「新設法人説明会」「特別研修会」など、一般の方をも対象とする各種税務研修会を開催したほか、会報「法人まえばし」による最新の税務情報の提供、「令和元年度税制改正のあらまし」等の税務に関する小冊子の配付など、様々な事業を行った。

特に、全法連が企業の税務コンプライアンス向上を目的として作成した「自主点検チェックシート」については、28年度から国税庁の後援を得て、「入門編」の前橋税務署受付への常備や、各種研修会・会合等の際の出席者への配付など、企業の税務リスク軽減のため、広く利用を呼び掛けた。

また、昨年10月の消費税率改正に伴う「軽減税率制度」導入周知のため、各種税務研修会に併せて「消費税軽減税率制度等説明会」を開催した。

2. 税の啓発・提言事業

①税制改正に関する提言活動

会員から寄せられた税に対する意見・要望を取りまとめ「2020年度税制改正に関する提言」を作成。税制委員により、地方自治体・地元選出国會議員への要望活動を実施した。

②租税教室の開催

青年・女性部会員が講師を務め、小学校6年生児童を対象とする「租税教室」を、市内の市立小学校16校18コマにて開催。1,022名が受講した。

12月 3日	大胡東小学校	87名	講師：飯島 徹・岡田賢一・横田 暁
12月 4日	桃井小学校	76名	講師：庭野幸造
12月17日	桃木小学校	63名	講師：伊佐陽介
1月14日	芳賀小学校	59名	講師：岡野周平
1月15日	岩神小学校	53名	講師：高浦 亮
同日	広瀬小学校	41名	講師：松本 健
1月17日	下川淵小学校	108名	講師：林 きみ代 (女性部会)
同日	石井小学校	19名	講師：伊与久裕之
1月22日	わかば小学校	39名	講師：山田弘道
1月23日	筑井小学校	33名	講師：小曾根要人
1月28日	永明小学校	107名	講師：植木信行
同日	粕川小学校	81名	講師：川井基義
1月29日	月田小学校	15名	講師：狩野麻紀 (女性部会)
2月 4日	時沢小学校	83名	講師：下田一成
2月 6日	細井小学校	78名	講師：塚田憲利
2月21日	桃川小学校	80名	講師：亦野高裕

③絵はがきコンクールの実施

女性部会が推進する「絵はがきコンクール」の募集を、租税教室を受講した児童を対象に行った。

18校より897点（昨年815点）の応募作品の中から、最優秀賞の前橋税務署長賞以下、56点を選考して表彰を行った。

なお、30年度の優秀作品を2月17日から3月16日の間、確定申告会場の「前橋プラザ元気21」に公開展示を行った。

④税に関する高校生の作文の審査選考への協力

国税庁主催による「税に関する高校生の作文」の優秀作選考審査に当会の広報委員、青年・女性部会員ほか計8名が参加。合わせて「前橋法人会会長賞（5編）」の提供を行い優秀作の表彰を行った。

3. 経営支援事業

「特別研修会」「部会別研修会」など、専門家を講師に経営全般に役立つ実践的な内容の研修会を開催したほか、「セミナーオンデマンドサービス」やホームページによる情報発信など、経営支援情報の提供を目的に各種事業を実施した。

4. 地域社会貢献事業

①女性部会による社会福祉協議会へのタオル・ペットボトルキャップ寄贈

3月6日、女性部会の社会貢献活動として、前橋市社会福祉協議会に、部会員が持ち寄ったPETボトルキャップ（337kg）及びタオル386本の寄贈を行った。ペットボトルキャップは発展途上国の医療支援のため売却され、ワクチン購入に充てられる。

②講演会の開催

5月27日、前橋商工会議所会館において、早稲田大学公共経営大学院教授の片山善博氏を講師に「政治の課題と地方の視点」をテーマとする講演会を開催。180名が受講した。

③映画「恐竜超伝説 劇場版ダーウィンが来た！」特別鑑賞会の開催

地域社会貢献活動の一環として、ユナイテッド・シネマ前橋において本会と3部会の共催により、3月15日の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの拡大防止のため中止とした。代替事業として、申し込まれた方に同映画の一般公開時に利用できる「鑑賞引替券」を配付した。結果、延べ125名が鑑賞した。

Ⅱ 共益事業

5. 会員支援事業

本会・女性部会・青年部会・地区地域部会を中心に、異業種交流・会員相互の親睦を目的とする各種研修会・協議会等を開催したほか、会員企業の従業員顕彰を目的とする「優良経理担当者表彰式」を通常総会時に実施した。

6. 会員維持・拡大事業

組織の強化と法人会活動の安定的運営を目的として、本会・地区地域部会役員が中心となり「会員増強運動」に取り組んだ。10～12月を特別強化期間として、新設法人への個別訪問等により、新規入会35社の実績を挙げることが出来たが、退会する会員もあり、会員数純増には至らなかった。3月末会員数は2,531社（昨年同期比▲33社）・加入率39.6%（昨年同期比▲0.3%）との結果となった。

7. 厚生制度推進事業

会員企業の安定的な経営と経営者個人の保障を目的として、厚生委員会と受託会社が協働にて「法人会福利厚生制度」を推進した。

特に、令和3年の福利厚生制度発足50周年に向けて展開する「想いをつないで50年 会員企業を守りたい キャンペーン」を積極的に推進した。

また、会員企業の経営者・従業員の健康管理を目的に「生活習慣病健診（2/15・16）」を実施。受診者の利便性を考慮して本年度より2日間実施し、102名が受診した。

Ⅲ その他

8. 新公益法人制度に即した運営の実践

新法人への移行に伴い、指導監督基準に則した、総会・正副会長委員長会議・理事会・委員会等の会議を開催した。

また、9月24日開催の理事会において、「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告」が行われた。